

鎌倉市立大船中学校改築 基本設計（案）

鎌倉市立大船中学校は、昭和 22 年 5 月に大船町立大船中学校として開校し、昭和 23 年には大船町が鎌倉市と合併したことで、鎌倉市立大船中学校と改称され、現在地に県下で第 4 番目の独立校舎が完成しました。その後、校舎の増築が行われて、創立 65 年を超える歴史ある学校として、今日に至っています。大船中学校改築事業では、学識経験者、保護者・町内会等により構成した鎌倉市立大船中学校改築検討協議会がとりまとめた「鎌倉市立大船中学校改築基本計画」に基づき基本設計の検討を行ってきました。

< 基本コンセプト >

「共生の心を大切に、地域と結ばれる学校」

< 「鎌倉市立大船中学校改築基本計画」における 3 つの基本方針に対する対応 >

① 「教育内容・教育方法の多様化に対応し得る学習環境の整備」

【方針 1】 丈夫で長持ちする施設とし、将来の学習環境の変化に対応できる柔軟性のある施設づくりを行います。

⇒耐震性能の高い構造形態を採用し、間仕切り壁を取り外し可能な壁とすることで、部屋の使い勝手に合わせて柔軟な部屋割りが可能な計画とします。

【方針 2】 多様な学習内容・学習形態に対応する高機能かつ多機能な学習環境を整備します。

⇒少人数教室と次世代教室や多目的スペースを各学年ごとに設け、多機能な学習環境に対応できる計画とします。各学年ごとのラウンジでは、生徒と先生・生徒と生徒といった交流を持てる環境を整備します。

【方針 3】 障がいのある生徒の自主自立活動を支援できる学習空間づくりを行います。

⇒特別支援教室エリアを集約し、専用庭や交流ラウンジを設ける等、ゆとりと落ち着きのある学習空間を整備します。

【方針 4】 広い学校敷地を活かして、各種運動施設の拠点となるような体育施設を整備します。

⇒各種競技に必要な広さの校庭を確保できるよう、校舎棟とスポーツ棟を配置する計画とします。

② 「安全でゆとりと潤いに溢れ記憶に残る生活環境の整備」

【方針 1】 生徒たちの学習及び生活の場として、日照・採光・通風に配慮した良好な生活環境を整備します。

⇒生徒の滞在時間の多い普通教室と一部の特別支援教室を校庭に正対した日当たりのよい位置に配置し、中庭や階段室を利用して積極的な自然換気を行える計画とします。

【方針 2】 施設全体のユニバーサルデザイン（バリアフリー化等）により、多様な利用者の利便性の向上を図ります。

⇒校舎棟・スポーツ棟に各々エレベーターを設け、地域開放時にも各々利用可能な計画とします。

【方針 3】 見通しの良い施設計画により、安全性・防災性に配慮した安心感のある生活環境を整備します。

⇒中庭を囲んだ口の字型の教室配置を採用し、中庭をかいして視認性の高い計画となっています。建物の空間を機能や用途ごとにまとめ、効率的な配置とするゾーニング計画により、死角の少ない計画とします。

【方針 4】 環境について、積極的に体験・学習ができるエコスクールを目指します。

⇒エコアイテムとして、雨水利用や太陽光発電、自然通風、自然採光、屋上緑化を検討します。

③ 「地域に開かれ地域の人と生徒がふれあえる交流環境の整備」

【方針 1】 学びや出会いを通じた地域交流拠点、生涯学習の場としての学校づくりを行います。

⇒体育館北側に地域交流広場を設けます。収穫祭など地域との交流を行うことが可能な計画とします。

【方針 2】 学校施設の地域開放を視野に入れた動線計画、施設整備づくりを行います。

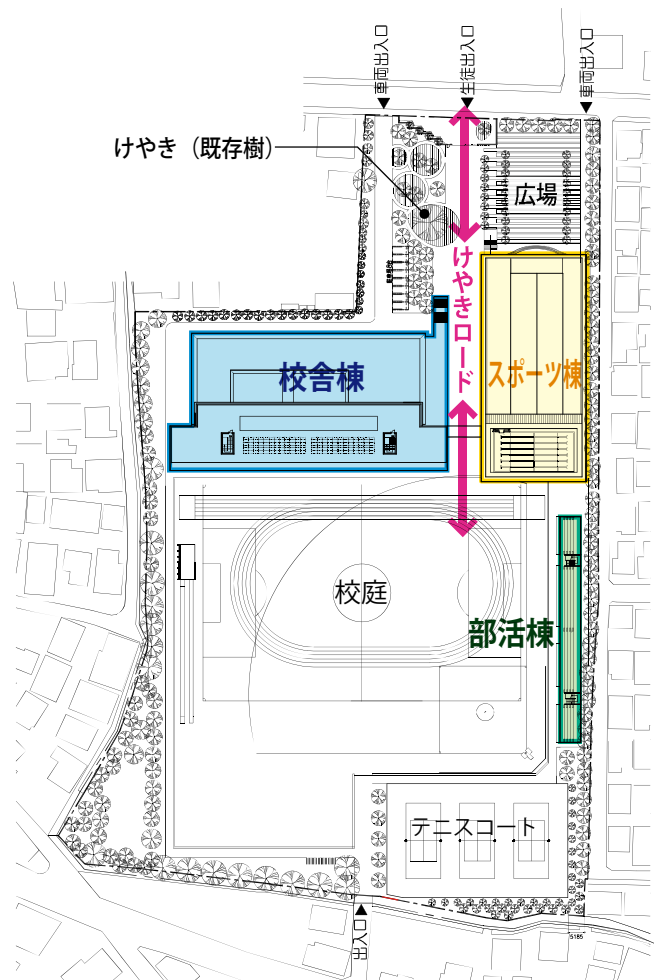
⇒正門から校舎へ向かう「けやきロード」を挟んで校舎棟とスポーツ棟を配置し、各棟ごとの地域開放の対応を可能とし、開放時のセキュリティを確保しやすい計画とします。

【方針 3】 地域の防災拠点として役割を果たし、まちづくりの核として貢献できる施設づくりを行います。

⇒災害時の防災拠点となるよう、スポーツ棟にはアリーナ、武道場、集会室、防災備蓄倉庫等のスペースを設け、また屋外プール（スポーツ棟 3 階）を設けて、震災用浄水装置による飲み水を確保することも可能な計画とします。

【方針 4】 生徒同士の交流、共同学習の場を確保しつつ、地域の人とふれあえる交流環境を整備します。

⇒大中ホールや中庭を校舎の中央に配置し、生徒と先生・生徒と生徒・地域と学校の交流広場となるスペースを設けた計画とします。



配置計画

■ 校舎棟とスポーツ棟の分棟配置

・できる限り早くスポーツ棟の利用が可能となるように、校舎棟と分棟とすることでスポーツ棟の早期竣工を実現します。また、利便性を考慮し、校舎棟とスポーツ棟を2階の渡り廊下で接続します。

■ 動線を中心「けやきロード」

・校舎棟とスポーツ棟の間に大船中学校の中心である「けやきロード」を配置します。それぞれの建物、校庭、広場へのメインアクセスとなり地域交流の中心となります。
 ・歩行者と動線分離した車両出入口を「けやきロード」とは別に旧校舎正門側に設置し、来客・職員用出入口へのサービス動線を確保する計画とします。

■ まとまりのあるスポーツゾーンの形成

・アリーナ、武道場、プールをスポーツ棟としてひとつに集約し、スポーツ棟、部活棟、校庭が連携しやすく利用しやすい配置とすることで、まとまりのあるスポーツゾーンを形成します。



ゾーニング計画

ゾーニング計画

■ 教育の多様化に対応する「普通教室の充実化」

・学年ごとのまとまりを重視し、フロアごとの学年ゾーニングとします。また、普通教室に面して、将来普通教室への転用が可能な多目的スペースや学年ラウンジを設け、高機能かつ多機能な学習環境を整備します。

■ 「メディアセンター」を中心としたわかりやすい配置

・図書室、パソコン室により構成されたメディアセンターを校舎の中心の2階に配置し、どの教室からも近くてわかりやすいゾーニングとします。

■ 学習意欲を高める「特別教室の充実化」

・普通教室ゾーンを取り囲むように配置された特別教室ゾーンは、各学年からアクセスしやすいゾーニングとなっています。また、教科ギャラリー、教科展示を検討し、各教科の学習環境の質を高めます。

■ 良好な生活環境を確保した「特別支援ゾーン」

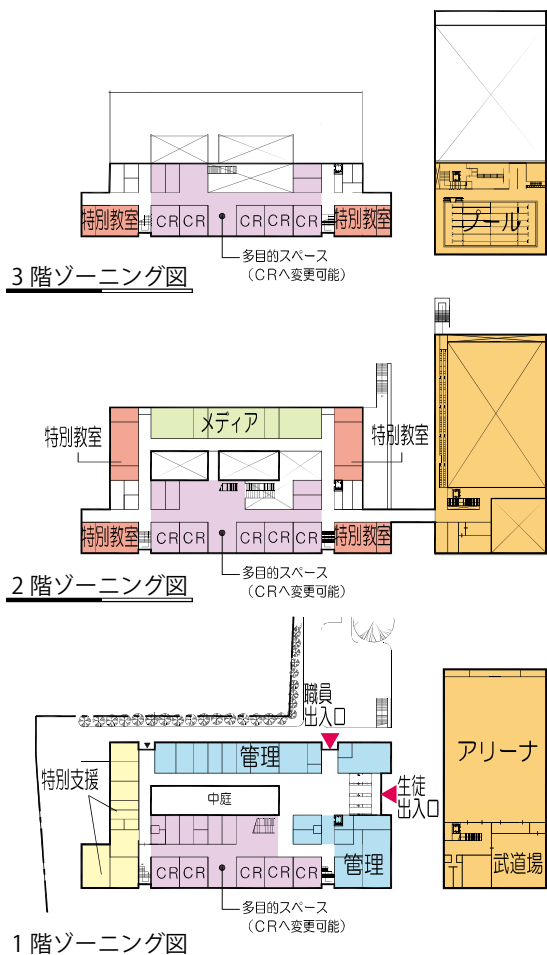
・陽当たりの良い南向きの教室と静謐な専用庭を確保することで、自主自立活動ができる生活環境を整備します。

■ 運動施設ゾーンとして集約された「スポーツ棟」

・アリーナ、武道場、プール等の運動施設をスポーツ棟に集約し、校舎棟と別棟とすることで、開放時のセキュリティを確保しやすい計画とします。

■ 見通しが良く管理しやすい「管理ゾーン」

・1階のけやきロード、校庭に面して職員室・事務室・保健室を配置することで、死角のないどこからでも見通しの良い計画とします。



敷地概要

所在地：鎌倉市大船四丁目1番25号（大船四丁目1024番）

敷地面積：31,476 m²

地域地区：第一種中高層住居専用地域

準防火地域、高度地区（最高高さ15m以下）

容積率：200%（許容容積対象面積：62,952 m²）

建ぺい率：60%（許容建築面積：18,885.6 m²）

日影規制：4時間・2.5時間（測定面+4m）

建築概要

用途：学校

構造規模：校舎棟 地上3階 鉄筋コンクリート造

スポーツ棟 地上3階 鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

床面積

	校舎棟	スポーツ棟	部活棟	計
3F	約1,370 m ²	約200 m ²		
2F	約2,600 m ²	約540 m ²		
1F	約2,850 m ²	約1,840 m ²	約370 m ²	
延床面積	約6,820 m ²	約2,580 m ²	約370 m ²	約9,770 m ²

計画施設

<校舎棟>

【管理施設】 校長室、職員室、事務室、技能員室、印刷室、保健室、健康相談室、会議室1・2、PTA室、給食配膳室、職員更衣室、特別支援職員室

【教室施設】 普通教室、多目的スペース、学年ラウンジ、少人数教室、次世代教室

【特別教室施設】 理科室1・2（準備室）、音楽室（準備室）、技術室（準備室）、家庭科室（被服・調理準備室）、美術室（準備室）

【メディアセンター】 図書室、パソコン室、視聴覚室、図書/パソコン準備室

【特別支援】 特別支援教室、プレイルーム、調理・工作室、更衣室、クールダウン室、シャワー室、

【他】 生徒会室、給食配膳室、トイレ、生徒更衣室、倉庫他

<スポーツ棟>

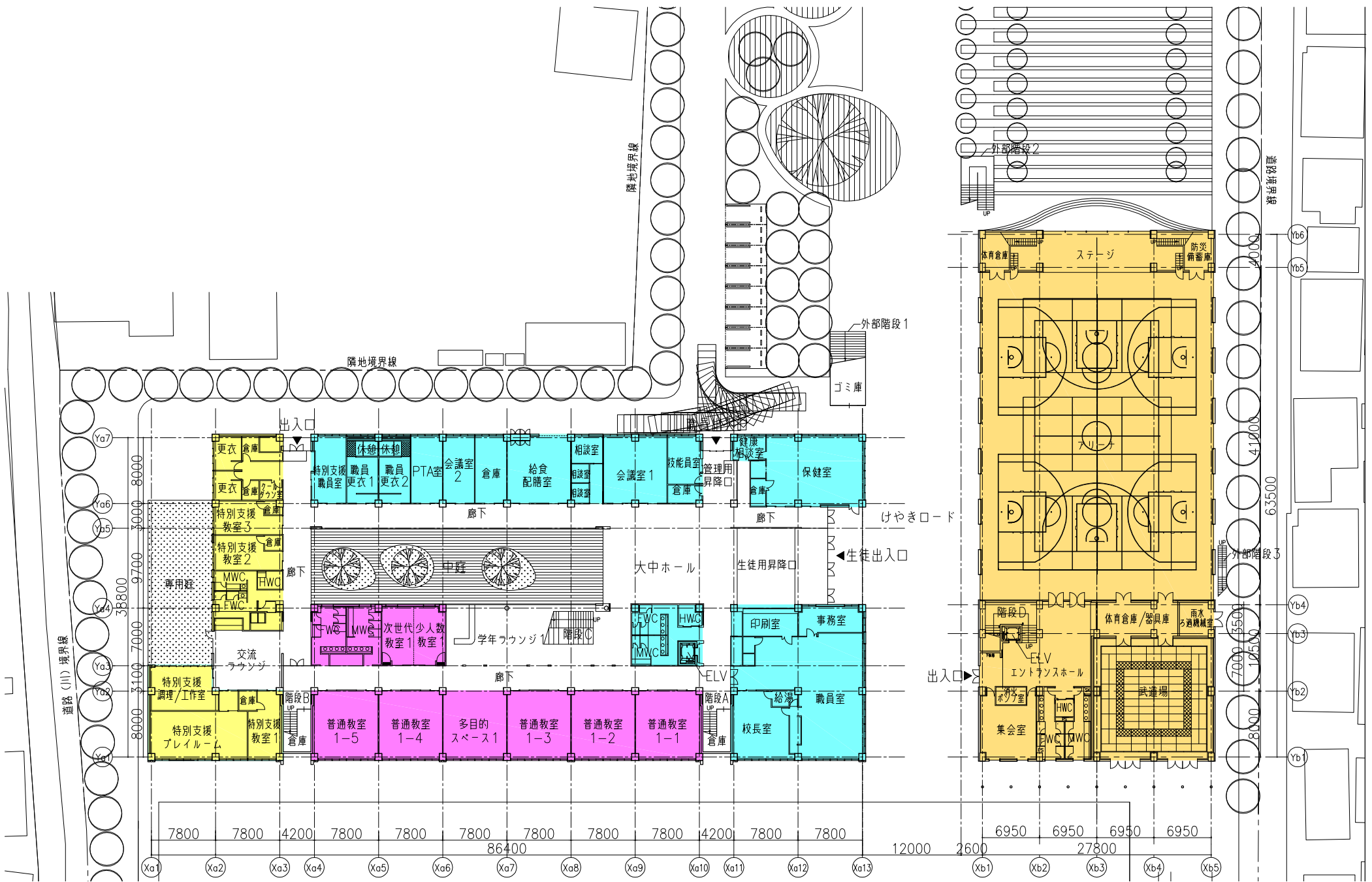
・アリーナ、武道場、体育倉庫（器具庫）、プール、更衣室、防災備蓄庫、集会室、放送室、放送機材庫、

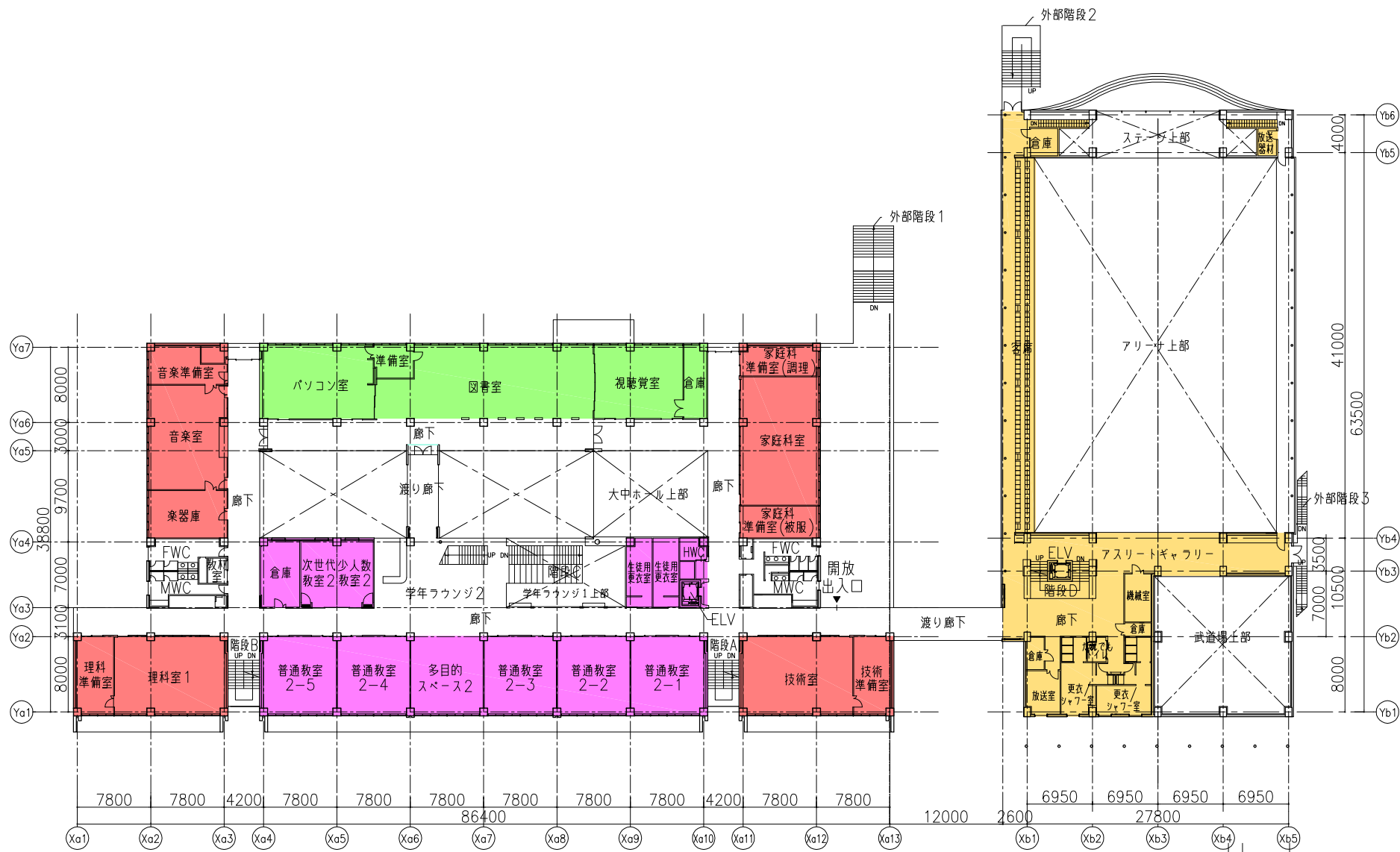
<部活棟>

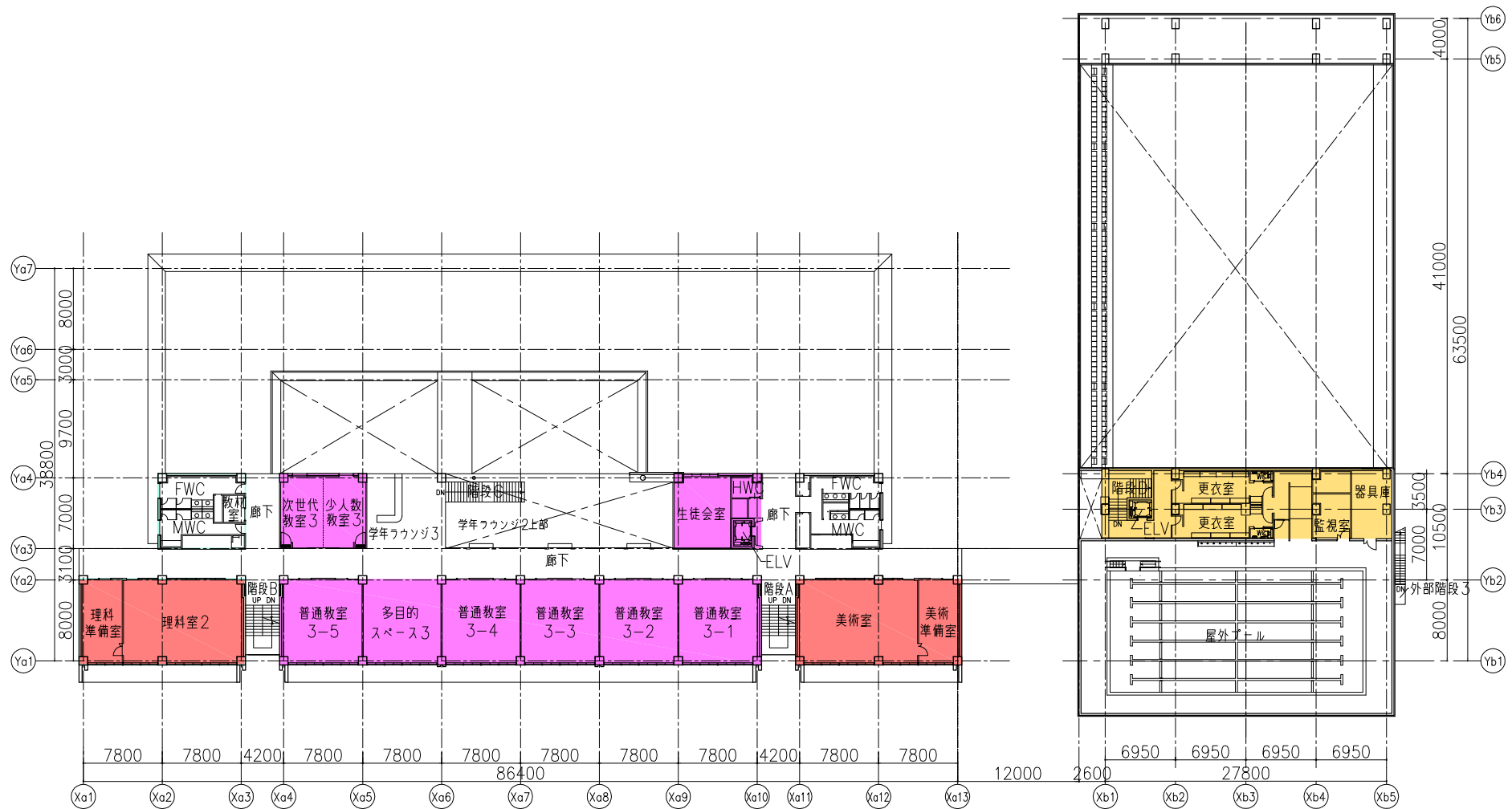
・部活倉庫、体育倉庫、機械室

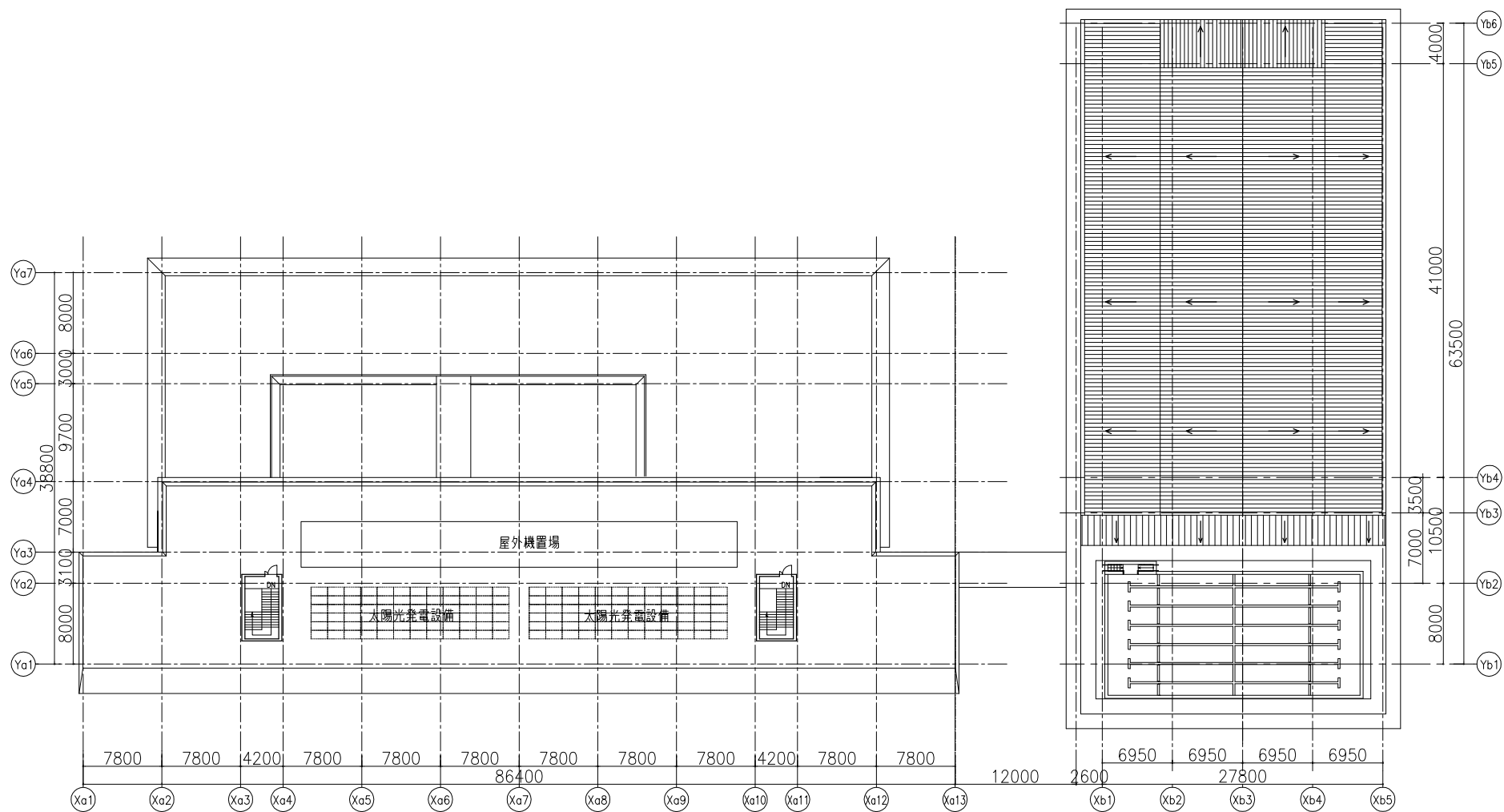
案内図

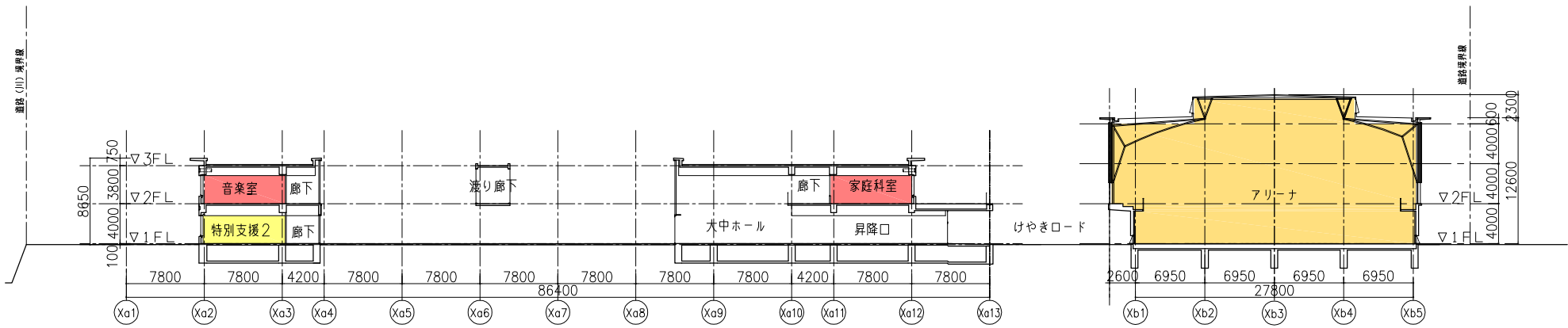




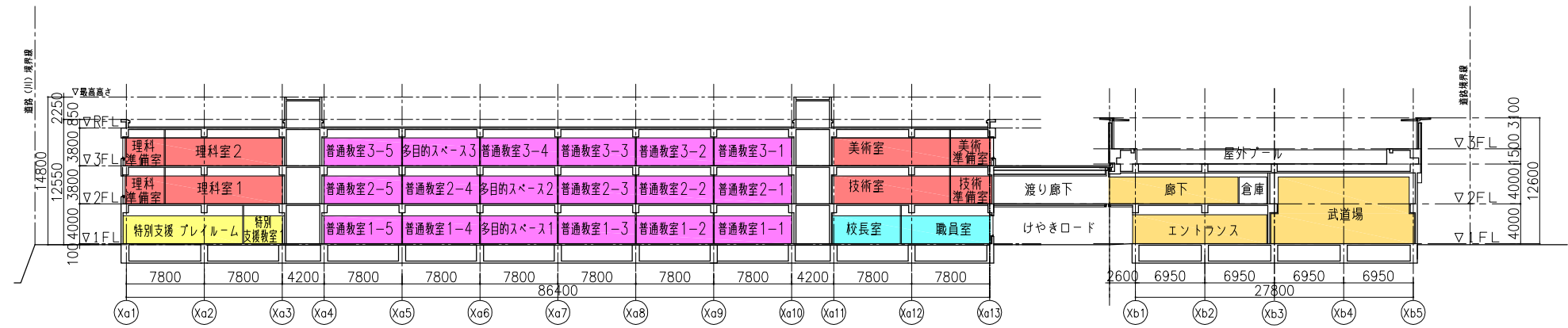








断面図-1



断面図-2